



つな 想いを、繋ぐ

イベント当日、書道パフォーマンスを行なった彦根総合高校書道部。
部員の皆さんに、メッセージに込めた想いや書道の魅力についてお話を伺いました。

Interview

書道パフォーマンスで普段から気を付けていることや工夫していることは？

普段から大きい筆を複数人で使うなど、個人ではなく全員で作品を創るため、息が合うようにコミュニケーションをとりながら行っています。

できるだけ字の大きさが同じになるように気を付けることや、腰をかがめて姿勢を低く、リズムののって書くようにすることなど、楽しんで見ていただけるような工夫を行っています。

描かれたメッセージにどのような想いを込められましたか？

今回、選んだ文字は「繋。メッセージには、会場に来てくれた人「葉っぱ」に想いを描いてくれた人、これから作品を見てくれる人そんな彦根の人たちが持つ、いろんな想いが繋がっていかばいいな、という想いを込めました。

書道の楽しさ、魅力とはどんなところ？

同じ字を書いていても、筆の使い方など、人によっていろいろな書き方がある、そういうところに気づくと面白く感じます。書道パフォーマンスは、普段の個人での創作と違って、全員で一致団結して作品を創る楽しさがあります。

DATA

彦根総合高校 書道部

創部5年目。部員は5人。展示会の出展作品の制作や、依頼に応じて書道パフォーマンスを行う。



田中希京先生 坂口遥さん 橋本乙葉さん 吉村夕空さん 久郷しずくさん 宮村茉美先生 下村菜月さん 境優那さん (協力)

Message

想いを込めて

スタッフからのメッセージ

私たちの活動では、市民が持つ、「まち」に対する愛情やプライド、譲れない挑戦などの想いを、広げ伝えていくことで、市民の彦根への愛着が高まり、自らもチャレンジすると、その挑戦を応援する人が増えていくような取り組みを進めています。

今年は、コロナ禍で、オンラインでの開催も考えましたが、リアルな空気感を大切にしたいと思いました。メンバーで議論を重ねて出した結論は、文字やイラストで想いを描いてもらうイベントを屋外で開催することです。多くの人にご協力いただき、人との繋がりを大切にしたいイベントとして実現できたと思います。

今後も、自らの想いが表現でき、その想いの実現を応援してくれる人がいる、そんな「まち」を目指して、市民と行政が一緒になって取り組んでいきたいです。



特集 ひこねいろ ~描いて伝えるわたしの想い~

『わたしの想い』を、描いて伝える

市のシティプロモーションでは、市民の皆さんが「まち」に誇りと魅力を感じ、その想いが形になって動き出すための仕組みづくりを行っています。

☎ シティプロモーション推進課 ☎ 30-6143 FAX 22-1398



彦根の根っこは、明日を育む。

雲ひとつない青空の下、令和2年10月、荒神山公園の野外ステージで、「彦根に対する想い」を表現するイベントが行われました。

イベントは彦根市シティプロモーション戦略推進委員会が企画。まちの未来に対する希望や、市内で活動している皆さんへのエール、彦根を盛り上げるための自らの決意など、「彦根に対する想い」が描かれた「葉っぱ」の形のメッセージカードを、事前に市民から募集したほか、イベント当日にも参加者から想いのこもったメッセージカードを集めました。

イベントでは、彦根総合高校書道部の皆さんによる書道パフォーマンスで巨大キャンバスを完成させ、集まったメッセージカード(約500枚)を、参加者で一つ一つ丁寧に貼り付けました(4~5ページに一部を掲載しています)。



Information

彦根市シティプロモーション戦略推進委員会

彦根市が策定した彦根市シティプロモーション戦略に沿って、市民による「まち」の魅力発信や、課題解決に挑戦する市民の支援など、まちの価値を高めるシティプロモーションを実践する官民協働組織です。

▶主な活動

- ① 市民が「まち」の魅力発信や課題解決に対し、積極的にトライすることを促す環境づくり
例 彦根の未来を創るアイデアコンテスト、Good Roots Meeting オンライン
- ② 市民の取り組みや「まち」に対する想いが表現され、その「熱」が新たな層に伝播する場づくり
例 イベント「ひこねいろ~描いて伝えるわたしの想い~」 ◀◀◀今回のイベント
- ③ 彦根市の様子や魅力を、市内外に届け、共感を生む情報発信
例 市民ライターによる情報発信、プロモーション動画の作成

動画でも Check!!



※25ページにも関連記事を掲載していますのでご覧ください!